

○ホームページ:「はらまち九条の会」で検索してご覧ください。
「会報」も創刊号から最新号まですぐに読むことができます。

花が美しい!
秋葵・陸蓮根



九条はらまち



福島県「はらまち九条の会」会報 No. 317

2018(平成30)年6月20日(水)発行

どなたでも、入会歓迎です!

okra okra

- 「はらまち九条の会」は、戦争放棄の憲法第9条を護って「戦争をしない国・日本」をめざし、支持政党などを問わない自由な市民の会です。
- 05年12月結成。会員は南相馬市原町区を中心に419名。年会費千円
- 3.11の大震災後、「事故の福島第一核発電所(原発)に世界一近くで活動できる“九条の会”」を自覚し、「日本国憲法の草案を起草した憲法学者鈴木安蔵(小高区)の故郷の“九条の会”」を誇りに活動しています。

6月17日(日)総会・映画上映会

お疲れさまでした

○本会総会と映画『コスタリカの奇跡』上映会は、6月17日(日)午後1時~4時、南相馬市民情報交流センターで開催。出席参加者は総会に37名、上映会には一般市民の方の入場も多く80名でした。

○総会は、平田慶肇会長から「広瀬隆さんの講演会が体調不良で中止になりお詫び申しあげます。国会も裁判もおかしくなっているが、皆さんとしっかり監視しましょう」という挨拶で開始されました。

○議長角田靖夫さん、議事録署名人高橋彰さんで、
＜下記＞のように話し合われました。



▲総会会場は、恒例のJR原ノ町駅前
南相馬市民情報交流センター

議事1:2017年度の活動報告:会報で逐一お知らせしている通りです。

議事2:2017年度会計決算報告:収入は会費・寄付・会報集録カンパなど。

支出は、成人式配布物経費・「日本の青空」上映協賛金・総会経費
・憲法記念日の新聞チラシ折り込み経費・インターネット維持費
・会報発行経費・郵送費・事務通信費など。

議事3:2018年度活動計画:「9条を守る」活動にさらに努める。

○成人式の憲法小冊子配布を市が来年も継続するようお願いする。

○会報発行を大切に、会員の意思疎通をはかる。

○小高区の憲法学者鈴木安蔵生家の保存について、事務局志賀勝明さんから説明がありました。

①取り壊しの話もあったが、鈴木家が保存することになる。

②まもなく、国の登録有形文化財になる予定である。

③今後「保存会」設立の場合は協力したいが、「九条の会」とは別組織にしたいと考えています。

避難した
おのれも
多い!

議事4:2018年度会計予算:総額826,393円で活動する。

議事5:その他:会員から「『安倍9条改憲NO!署名』はあまりに集計が少ないのではないか」との質問がありました。「確かに400名の会員で1000筆程度で少ないのですが、今後もそれぞれ出来る範囲で頑張ろう。署名は延長されたので、会報送付封筒に署名用紙を再度入れて会員にお願いしよう」とお答えしました。国会で改憲発議を阻止させるよう、署名活動などで世論を喚起していきたい。

＜はらまち九条の会
会員居住地＞

福島県内 356名	
原町区	294名
鹿島区	15名
小高区	3名
相馬市	10名
いわき市	9名
福島市	11名
郡山市	7名
など	

福島県外 63名	
宮城県	11名
群馬県	3名
埼玉県	4名
東京都	18名
千葉県	7名
神奈川県	13名
など	
会員 419名	



※「総会要項」お入り用の方は、事務局井上までお申し出ください。

本来「総会要項」は会員全員に届けなければいけないのですが、現在は出席者だけに配布しています。悪しからずご理解下さい。

6月の本会主催の上映会 <映画『コスタリカの奇跡』を観て思うこと>

コスタリカが選んだ自立の道

「コスタリカは侵略された歴史から学び、戦力を持たない自立の道を選び、それに徹した政治家の強い信念、それを支えた国民に感動しました。」 (60代・女性)

安倍首相もコスタリカを見なれ!

「すごい一言。安倍首相もコスタリカの政治家の爪のアカでも煎じて飲んで欲しい。」 (70代・男性)

日本も“非武装中立政策”を

「日本で非武装中立を主張したら、間違いと言われるけど、私は今後の日本は、コスタリカのように外交力を尽くして軍隊のない国のあり方が正しい選択だと思う。21世紀はもう戦争の時代ではないし、資源のない日本は全方位外交でいくしかない。膨大な軍需費を福祉や教育、脱原発にまわす時です。」 (70代・男性)

日本はコスタリカのような外交力を

「アメリカに頼る他力本願の外交では、拉致問題も解決できない。小国でもコスタリカのように信念を持った外交は本当に立派だと思います。」 (50代・女性)

○映画上映について、『福島民報』『福島民友』両紙の事前の報道で、入場者が増えました。

コスタリカの奇跡

ここに国軍を
解散する!!

わが国の安全は
警察によって
十分に守られて
いるからだ



1948年12月1日、
ホセ・フィゲ雷斯
・フェレルの演説

映画の概要

◇中米の「コスタリカ」は人口500万人の小国だが、地球幸福度指数ランキング世界一、積極的永世非武装中立政策で最も安全な国です。◇1948年に憲法で常備軍を撤廃。軍隊なしで平和と安全を守り、軍事予算を社会福祉に充て、教育費も医療費も無料という理想の福祉国を実現するまでのドキュメンタリー映画。2016年製作・90分。

コスタリカの理性

石田賢二(事務局)

そこには、日本国憲法が制定されたばかりの日本の姿が見られた。

長い戦争の後に手に入れた、貧しくとも平和の鐘が鳴り響く中に、軍隊のない国が誕生したのです。押しつけと言うが、米国自身が夢見ている理想の日本で作ることを試したのではないのか。

「法の秩序」という理性を手にするために努力し続けたコスタリカが、国民の絶大な希望を具体化してきた力は、まさに正しいリーダーと国民自身の力であった。日本国憲法前文にあることは、幻でも絵に描いた平和でもなく、国民の理性の総意であったはずです。

西部劇映画の中で観た「死の商人」は今も

なお大規模な力を持って世界を支配しているのだ。一握りの人間の力であった「死の商人」は、今や肥大化して国家の仕組みの中でモンスターとなって生き続けている。人は何の為に生きるのか。

聖書に手を置き、宣誓したアメリカ大統領たちは、キリストの教えの具体化に努めることを誓うのではないのか。

コスタリカの代々のリーダーは、国民の自由と福祉と教育のために努力を続けていた。理想を現実に合わせて道筋を彼等は教えてくれた。圧倒的国民の理性の勝利を見たのです。歴史は、理性の闘いの跡を見せてくれる。それは21世紀を迎えた現代でも、残念ながら一握の砂でしかないのです。

(2018年6月・郡山市在住)

○映画『コスタリカの奇跡』は、福岡市の関根健次さんひとりの「軍隊なしで平和が守れるものだろうか」という着想、そして「コスタリカに家族で1年間住む」という実行動からこの映画に出会い、日本の全国自主上映会へと発展しました。○「物事はひとりから始まる」というのは真理ですね。